

新創研あいち「頑張れものづくり」講演会

6月5日 於 名古屋市中企業振興会館

(株)名高精工所 名高新悟

去る6月5日(土)、愛知県名古屋市中企業振興会館において、新創研あいち「頑張れものづくり」講演会が開催されました。講演は2部あり、第1部は、機青連から秋田社長が「企業連合で創造的なモノづくり」と題して講演なされました。(株)秋田製作所と(株)アクトの現在に至るまでの経緯と、「京都試作ネット」の事例を、実際にNHKなどでオンエアされた映像を織り交ぜつつ、説明されました。

第2部は、地元愛知から(株)鳥越樹脂工業の鳥越社長が「依存からの脱却。小さなひらめきが自社ブランドを作る」と題して講演なされました。自動車のダクトの試作部品メーカーから、健康機器用品の自社ブランド、メーカーへと変わっていった経緯や、トヨタとの取引の中で培われた品質管理体制の話などをなされました。

両社長に共通していることは、売上げの激減による会社の危機を、複数回、乗り越えてきたという事実です。このことは、両社長の会社やモノづくりに対する情熱、執念が危機的状況を凌駕した結果であると感じました。2講演共に大変興味深いお話でしたが、特に、秋田社長がおっしゃられた「自分はすべてのことに対して魂を込めて行動する。また、そうすれば人に通じる。」という内容の言葉には、何かこう胸が熱くさせられ、また、真理であるなど感じました。この日は、私にとって大変有意義な1日となりました。本当にありがとうございました。

